

各 位

2022年5月吉日
JVCKWシニアクラブ
事務局長 田代 周

下山 静香の「おんがく×ブンガク」鑑賞会ご案内



裸足のピアニスト下山静香の「おんがく×ブンガク」鑑賞会のご案内です。演奏・トーク・映像・朗読・対談による新感覚芸術サロンをお楽しみください。

3年前の2019年10月にもコンサートに参加し、その時は夏目漱石のお孫さんをゲストに迎えてトークが行われました。

今回はゲストに秋本祐希（メゾソプラノ）、佐原敦子（ヴァイオリン）他を迎えて「アンダルシアに刺さる月」ガルシア・ロルカ編のコンサートとなります。

皆で音楽と文学に浸りましょう。ふるってご参加ください。

大きな会場で、シニアクラブとしての定員はありません。
チケット確保のためにお早めにお申し込みください。

— 記 —

- 開催日：6月30日（木）
- 開 演：18時45分（開場18時00分）
- 集 合：18時15分までに下記会場入口まで集合ください。
- 会 場：座・高円寺2（1，2ある内の2）

東京都杉並区高円寺北2丁目1-2 （JR中央線高円寺駅北口より徒歩5分）



- 参加費：シニアクラブ特別料金3000円（一般の方は4000円） 当日徴収
- 内 容：パンフレットを参照ください
- 申込み：5月31日（火）までに以下にメール又は電話にて申し込みください。

申込先：榎本 享二 kyoii-enomoto@icom.home.ne.jp

電話：080-1084-6431

以上

Menu

メゾソプラノ&ピアノ

ジョナサン・ドーヴ: カット・マイ・シャドウ
(サプライズ/ギター/枯れたオレンジの木の歌)

ヴァイオリン&ピアノ

フランシス・ブーランク: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

ピアノソロ

伊左治 直: 《虹の定理》

インタビュー対談

ロルカと音楽 ♡伊左治 直氏を迎えて

ユーフォニアム&ピアノ

伊左治 直: 《ガルシア・ロルカによるパラフレーズ》

フラメンコ

ロルカに捧ぐ(カンテ&ギター)/タラント

※順不同。都合により演奏曲目を変更する場合がございます。

下山静香 (ピアノ・朗読・舞踊)

ゲスト

秋本祐希 (メゾソプラノ)

佐原敦子 (ヴァイオリン)

外園祥一郎 (ユーフォニアム)

須田隆久 (カンテ) 中川浩之 (ギター)

三枝雄輔 (パルマ) 伊左治 直 (作曲)

アンダルシアに刺さる月
ガルシア・ロルカ

おんがく × ブンガク vol.5

演奏・トーク・映像・朗読・対談 ♡ 新感覚芸術サロン



2022年
6月30日 日 木

開演 18:45 (開場 18:00)

座・高円寺2

一般 4,000円 グラシア会員 3,500円 学生 2,000円

チケット購入: Peatix <https://shizuka630.peatix.com>

お問合せ: 下山静香 Official Site <https://www.shizukagracia.com/contact-1/>



主催: ミューズ・グラシア / 協力: 荒川和重
後援: インスティテット・セルバンテス東京, 日本スペインピアノ音楽学会



スペイン舞踊振興MARUWA財団
令和3年度 助成事業

※新型コロナウイルス感染防止のため、本館時の検温、手指消毒、マスク着用をお願いしております。体調に不安を感じる方、感染者との濃厚接触が確認された方は、ご来館をお控えくださいますようお願い申し上げます。

下山静香の おんがく×ブンガク vol.5

アンダルシアに朝さる月
ガルシア・ロルカ

下山静香が贈る欲張りサロンシリーズ、 ついにアンダルシアへ・・・ロルカを味わう一夜



下山静香 ピアノ Shizuka Shimoyama

「知性と感性に優れた演奏」「透明な抒情性と詩情に満ちた佳演」などと評される。美術とのコラボレーション、中南米企画の主催をはじめ朗読や舞踊もこなすなど、独自の世界を開拓するユニークな存在。99年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡西。スペイン音楽エキスパートとして知られ、NHK-BS「クラシック倶楽部」「びあのピアノ」、Eテレ「ららら！クラシック」などに出演。CD12枚をリリース、4枚は「レコード芸術」誌で特選盤。2015年より「音楽と美術の旅」ツアーを実施(主催・郵船トラベル)。桐朋学園大学非常勤講師。日本スペインピアノ音楽学会理事。

秋本悠希 メゾソプラノ Yuki Akimoto

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程、博士課程修了、博士号取得。同大学よりアカンサス賞、三菱地所賞等受賞。文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として英国王立音楽院修士オペラ科に留学。コンセル・マロニエ21、リチャード・ドリス・アワードで優勝、日本音楽コンクール、国際ワグナー・ソサエティコンクール入賞。2020年、ウィグモアホールのリサイタルに出演し英国デビュー。N響、読響、東フィルなど多くのオーケストラと共演。その歌唱と演技力は高く評価されている。



佐原敦子 ヴァイオリン Atsuko Sahaara

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。文化庁芸術家在外研修員として2年間留学。ウィーン国立音楽大学大学院室内楽科修了。ウラルスク国際ヴァイオリンコンクール優勝。2021年に「ブーランク ヴァイオリンソナタ」をリリース。ユリウス・レントヘンの日本初演を積極的に行っている。東京藝術大学大学院室内楽科非常勤講師を経て、現在、藝大フィルハーモニア管弦楽団、アンサンブル of トウキョウメンバー。 <https://www.atsuko-vn.jp/>



外園祥一郎 ユーフォニアム Shoichiro Hokazono

1992年第9回日本管打楽器コンクールで第1位および大賞を受賞。97年英国「ユーフォニアム・プレイヤー・オブ・ザ・イヤー」受賞、同年9月フィリップ・ジョーンズ・ブラス・コンクール(フランス)ユーフォニアム部門優勝。これまでに数々のオーケストラと共演。27枚のアルバムをリリース。東京音楽大学教授、エリザベト音楽大学、大阪音楽大学、京都市立芸術大学、昭和音楽大学各客員教授および相愛大学音楽学部特別講師。ピュッフェ・クランボン・ジャパン専属講師。



須田隆久 カンテ Takahisa Suda

カンテオール / 琵琶奏者 / フラメンコギター弾き語り。カンテをイスマエル・フェルナンデス、エル・ロンドロ、ホセ・アニージョに、ギターをアグスティン・デ・ラ・フエンテに師事。フラメンコを生業にしながら琵琶、能楽を学び、海外の能楽公演にて琵琶を演奏。高音質ハイレゾCD「絃月」をリリース。一人で5種類の絃楽器を駆使し、フラメンコや能楽の謡、琵琶語りのボイスも収録。



中川浩之 ギター Hiroyuki Nakagawa

1973年生まれ、千葉県千葉市出身。14歳でクラシックギターを始める。大学生の頃初めて聴いた名フラメンコギタリスト、パコ・デ・ルシアの影響でフラメンコギターを始め、日野道生氏に師事。その後スペイン人アーティストらにも指導を受け、現在はフラメンコ舞踊の伴奏、カンテ(歌)の伴奏、ギターソロ演奏などで活動中。



三枝雄輔 バルマ Yuske Saegusa

バイラオール / バルメーロ 21歳の時、ベニート・ガルシアの踊りに感動しフラメンコをはじめ。スペインと日本を往復しながら数千回に及ぶライブ経験を持ち、日本人離れした感性で国内外の数々のアーティスト達から高い評価を得ている。数多くの賞も受賞。フラメンコ芸術事業活動「LA RAIZ」を主催。2021年より創業50年を誇る東京・高円寺のクラブ「エス・バランサ」を運営する。



伊左治直 作曲 Sunao Isaji

現代音楽系の作曲や即興演奏からブラジル音楽ライブに至るまで、様々な活動を展開。サッカーや映画、民俗学の愛好家でもあり、それらの興味は作曲へ強く影響を与えている。芥川作曲賞、出光音楽賞、「南蛮劇場 一伊左治直 個展」にて佐治敏三賞などを受賞。作品集CD《熱風サウダージ劇場》他。ガルシア・ロルカ関係作品に、ラジオオペラ「密室音響劇『血の婚礼』」、合唱曲《LLUVIA(雨)》《ほくの少女は海へ行った》《あたらしい歌》、ピアノ曲《ガルシアは寒かった》などがある。



●JR中央線「高円寺駅」北口より徒歩5分
座・高円寺2 杉並区高円寺北2-1-2 Tel:03-3223-7500

《おんがく×ブンガク》第6回 2022年11月18日(金)
～マルセル・ブルースト編 没後100年～ at 霞町音楽堂